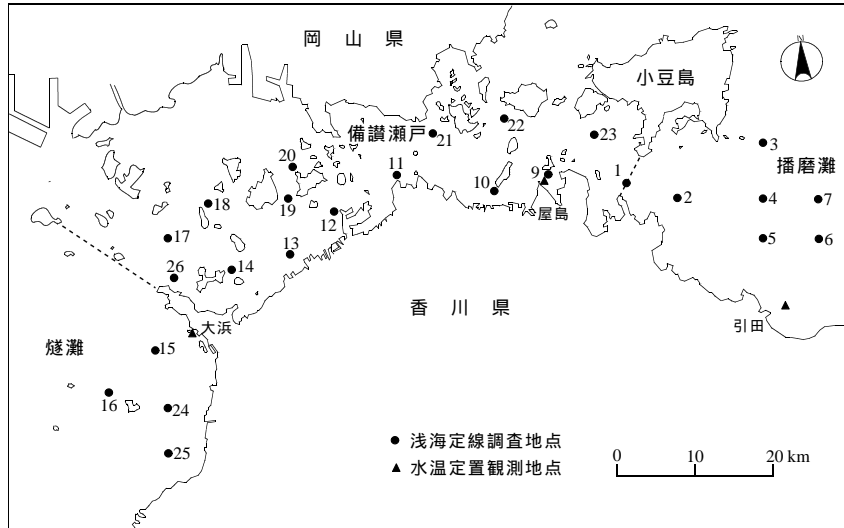


香川県漁海況速報 平成18年 11月 (H18-8号)

香川県水産試験場

1. 海況

1) 観測地点



2) 浅海定線調査

(1) 調査日

平成18年11月2日 (播磨灘) 1日 (備讃瀬戸、燧灘)

(2) 水質概況

平年と比較すると、水温は「かなり高めから著しく高め」、塩分は「やや低めから平年並み」、透明度は「著しく低めからやや高め」、溶存酸素は「かなり低め」であった。

平年偏差 = 平均値 - 平年値

		水温 ()			塩分 (PSU)			透明度	溶存酸素(ml/L)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層	(m)	表層	底層
播磨灘	7地点平均値	22.8	22.8	22.9	31.7	31.7	31.9	5.7	4.46	4.38
	平年値	21.3	21.2	21.3	31.9	31.9	32.1	8.3	4.95	4.80
	平年偏差	1.5	1.5	1.6	-0.2	-0.2	-0.2	-2.6	-0.49	-0.42
	状況	かなり高め	かなり高め	著しく高め	平年並み	平年並み	平年並み	かなり低め	かなり低め	かなり低め
備讃瀬戸	14地点平均値	22.5	22.5	22.5	31.0	31.0	31.0	5.6	4.49	4.43
	平年値	20.6	20.6	20.6	31.6	31.6	31.7	4.9	4.91	4.89
	平年偏差	1.9	1.9	1.9	-0.7	-0.7	-0.7	0.7	-0.42	-0.46
	状況	著しく高め	かなり高め	かなり高め	やや低め	やや低め	やや低め	やや高め	かなり低め	かなり低め
燧灘	4地点平均値	22.7	22.7	22.7	31.3	31.3	31.4	3.7	4.74	4.26
	平年値	20.9	20.8	20.8	31.9	31.9	32.0	7.7	5.26	5.02
	平年偏差	1.9	1.9	1.9	-0.6	-0.6	-0.6	-4.0	-0.53	-0.76
	状況	著しく高め	著しく高め	かなり高め	やや低め	やや低め	やや低め	著しく低め	かなり低め	かなり低め

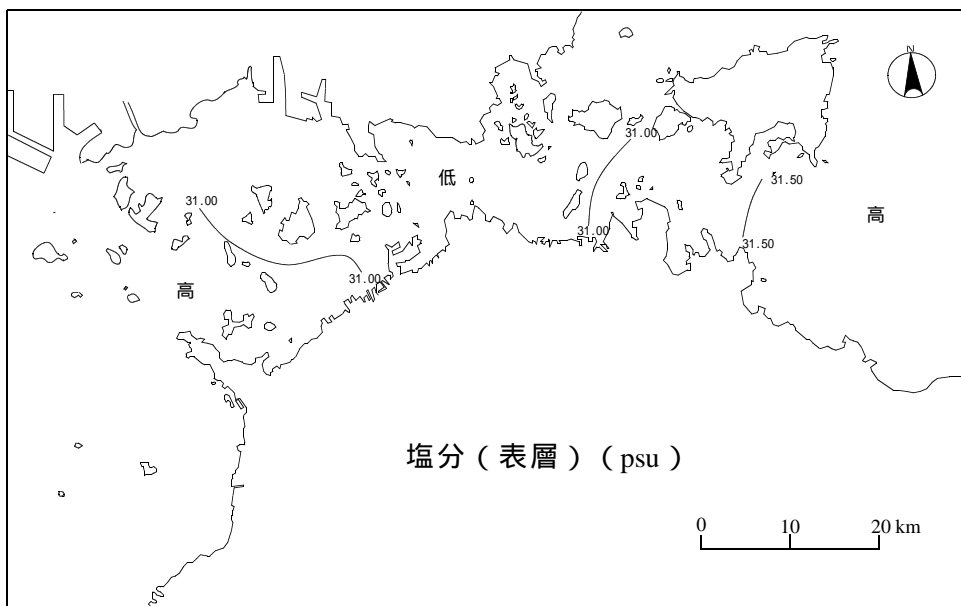
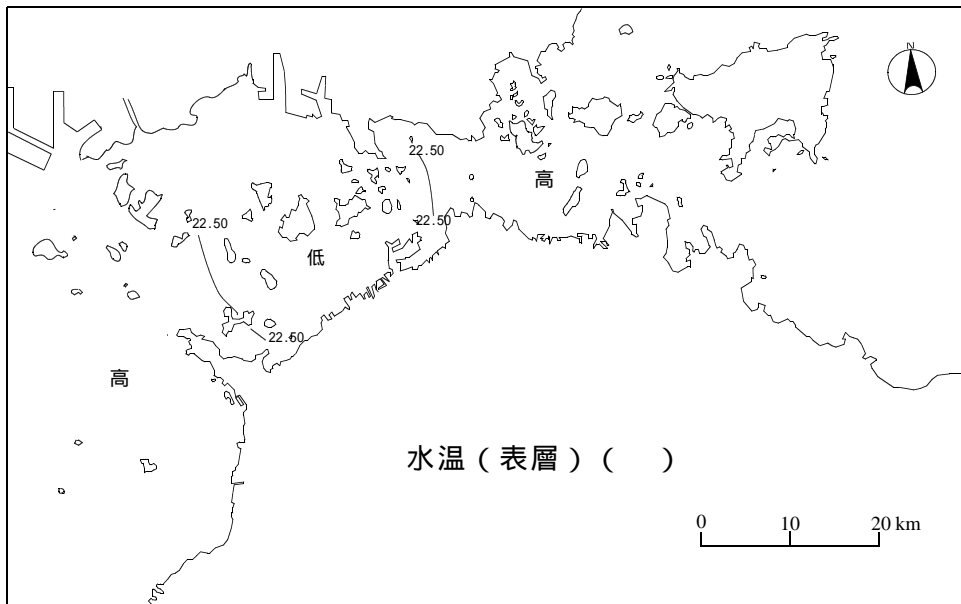
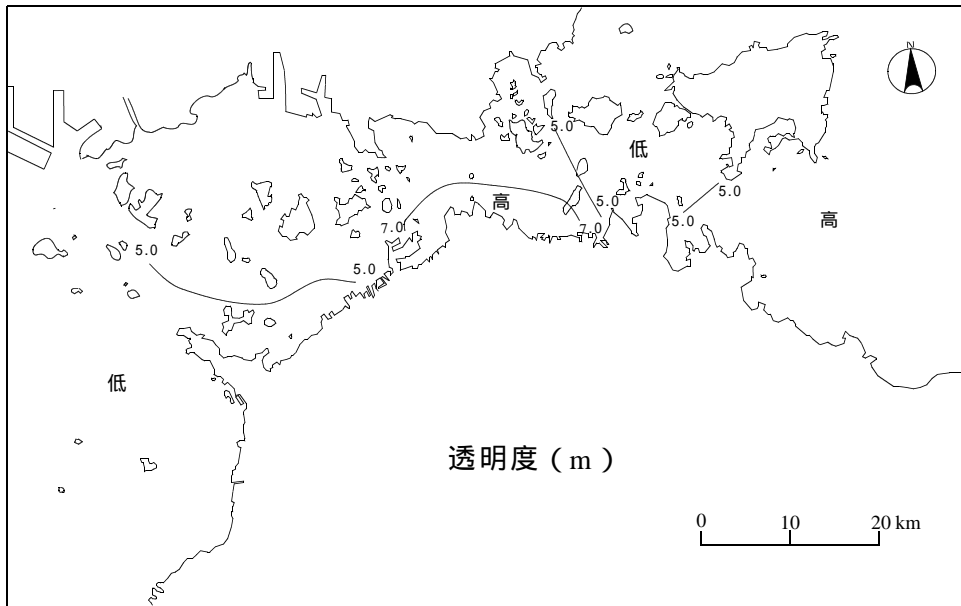
平年値の算出期間

水温、塩分及び透明度：昭和48年（1973）1月～平成13年（2002）12月

溶存酸素：昭和48年（1973）2月～平成13年（2002）12月

水温は、毎月1日の値に補正。

平年並み	0	平年偏差 < 0.6	(: 標準偏差)
やや高め (やや低め)	0.6	平年偏差 < 1.3	
かなり高め (かなり低め)	1.3	平年偏差 < 2.0	
著しく高め (著しく低め)	2.0	平年偏差	



3) 定量観測(水温)

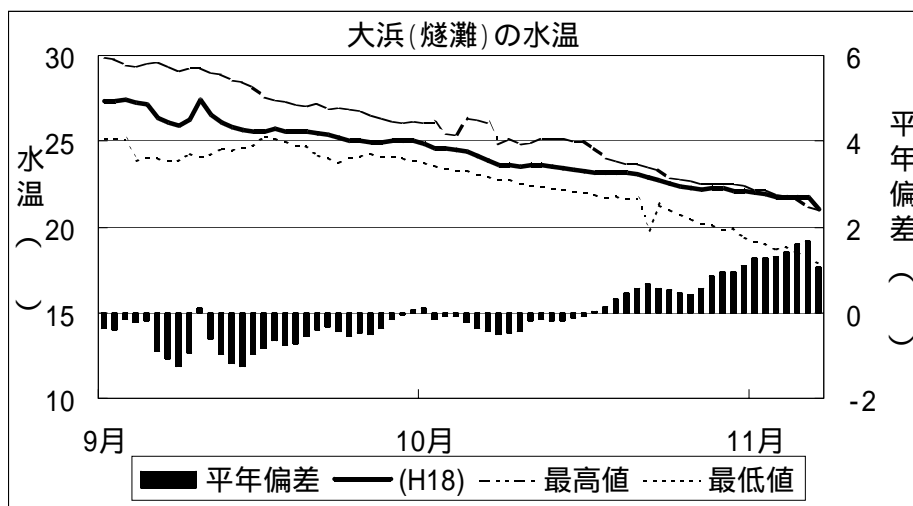
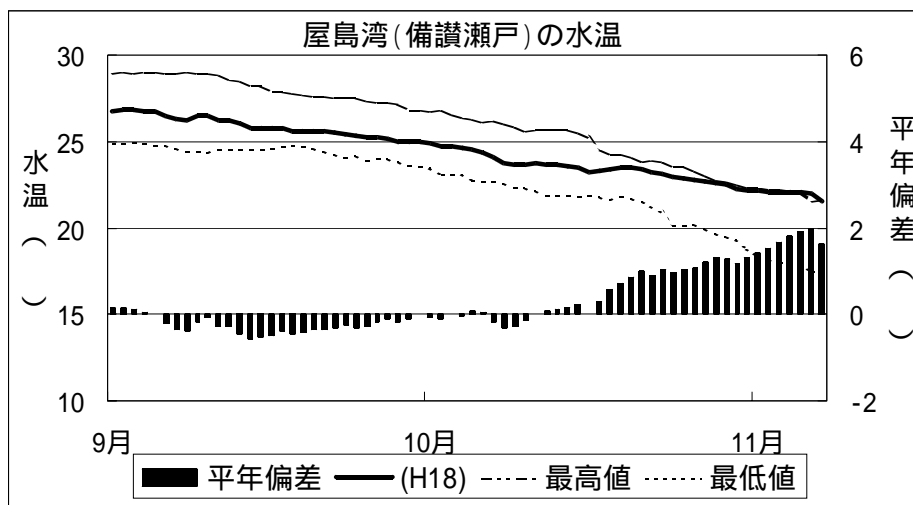
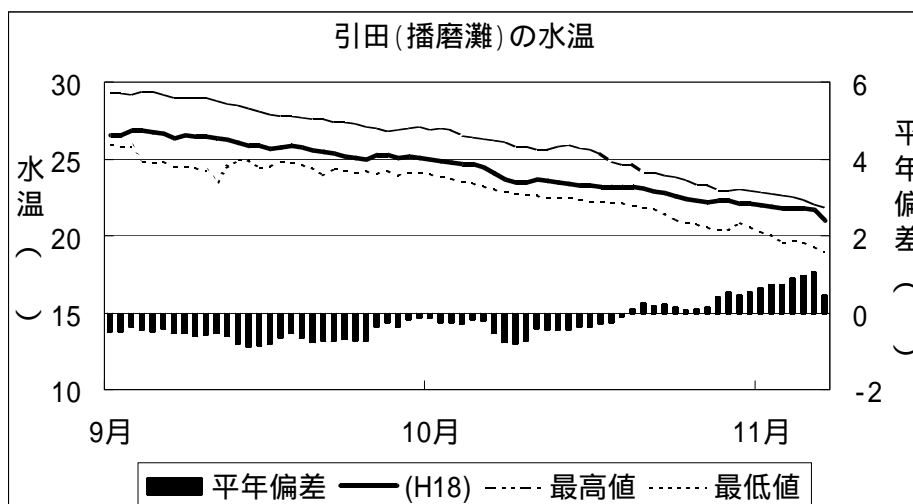
播磨灘(引田): 8月末以降平年値を下回る日が続いていたが、10月下旬以降は、平年値を上回る日が続き、11月に入ると平成元年以降の最高値に迫る日があった。

備讃瀬戸(屋島): 10月中旬以降平年値を上回る日が続き、11月5、6日には昭和50年以降の最高値を更新した。

燧灘(大浜): 10月中旬以降平年値を上回る日が続き、11月5、6日には平成元年以降の最高値を更新した。

平年値の算出期間 引田及び大浜: 平成元(1989)～平成17(2005)年

屋島: 昭和50(1975)～平成17(2005)年



4) 赤潮

播磨灘：発生なし。

備讃瀬戸：発生なし。

燧灘：11月上旬、南東部で *Mesodinium rubrum* の赤潮の発生があった。

5) 卵稚仔

調査日：平成18年11月2日（播磨灘） 1日（備讃瀬戸、燧灘）

出現量

個（尾）/ 曳網

	カタクチイワシ		マイワシ		サワラ		その他の魚類	
	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.13	2.25
備讃瀬戸平均	2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.40	0.27
燧灘平均	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
総平均	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.23	0.73

対平年値

	カタクチイワシ		マイワシ	
	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘平均	0.0%	0.0%	-	-
備讃瀬戸平均	6666.7%	0.0%	0.0%	0.0%
燧灘平均	0.0%	-	-	-
総平均	833.3%	0.0%	0.0%	0.0%

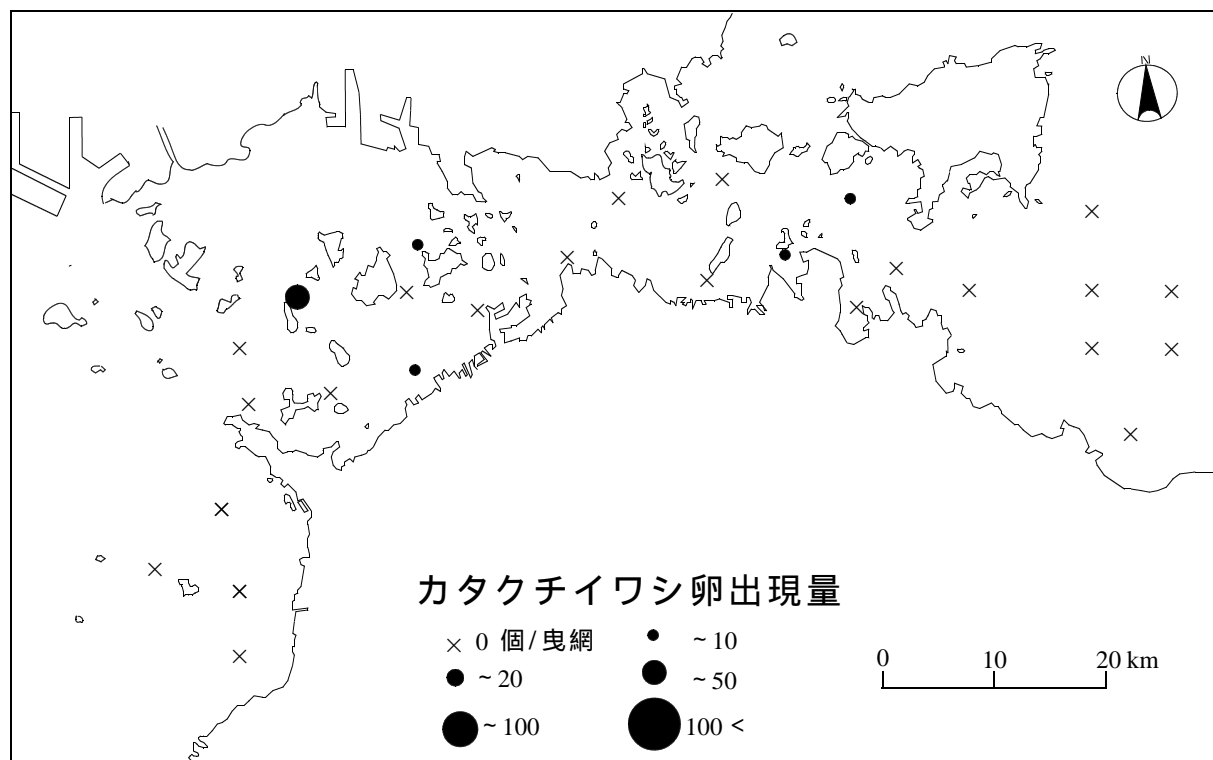
- : 平年値が0の場合を示す。

平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和55（1980）～平成17（2005）年度

マイワシ：平成5（1993）～平成17（2005）年度

各調査点でカタクチイワシ卵の出現は、次のとおりである。



2. 漁況

10月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	底びき網では、主にウシノシタ類、カマス類、小エビ類、コウイカ類が漁獲されている。 桁網では、主にマアジ、スズキ、ボラ類、タチウオ、カワハギが漁獲されているが低調である。 船びき網のシラス漁は、11月に入っても3～4経営体が操業しているが、漁模様は低調である。
備 讃 瀬 戸	底びき網では、主にウシノシタ類、メイタガレイ、マダイ、マアナゴ、イイダコ、マダコ、コウイカ類、小エビ類が漁獲されている。
燧 灘	底びき網では、主にメイタガレイ、テンジクダイ、タチウオ、ガザミ、マダコ、コウイカ類、小エビ類が漁獲されている。 桁網では、タチウオ主体に漁獲されている。 サワラ流し刺し網は10統前後が操業しており、1歳魚(3kg前後)主体であるが、好漁である。